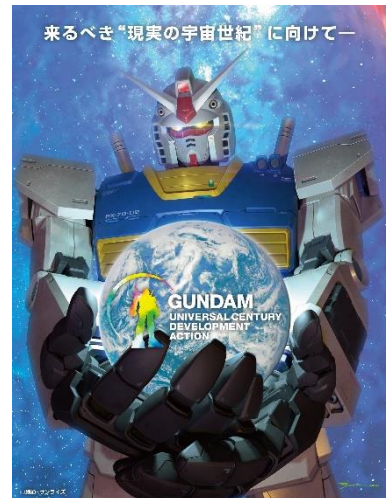


「機動戦士ガンダム」×「未来技術」で未来の夢と希望を現実化するプログラム 「ガンダムオープンイノベーション（GOI）」最新情報

「GOI 宇宙世紀憲章キャンペーン～未来に向けて月へメッセージをおくろう～」を実施
～月面探査プログラム『HAKUTO-R』の月着陸船が「GOI 宇宙世紀憲章プレート」を届けます～

バンダイナムコグループの横断プロジェクト「ガンダムプロジェクト」は、「ガンダム」を活用したサステナブルプロジェクト「GUNDAM UNIVERSAL CENTURY DEVELOPMENT ACTION（GUDA）」の一環として、ガンダムの時代背景「宇宙世紀」（人類が宇宙へ進出してからの時代を指す記年法）を現代社会に捉えなおし、人口問題・地球環境問題の解決に向けた新しい発想や技術を募集する企画「ガンダムオープンイノベーション（以下略称：GOI）」を2021年度から開始しています。

GOIでは現在15チームの採択パートナーと共に、来るべき"現実の宇宙世紀"に向けて「宇宙環境」や「操縦ロボット」「農業」というさまざまな分野のプロジェクトを立ち上げています。GOIはこのたび初となる、ファンのみならず参加可能なプロジェクトとして「GOI 宇宙世紀憲章キャンペーン～未来に向けて月へメッセージをおくろう～」を実施します。



このプロジェクトは、GOIと共に「宇宙」や「未来」について考えていただくことを目的に、数年後・数十年後の自分や家族、大切な人々、または未来に宇宙で暮らす人々などに向けたメッセージを特設サイトで募集します。そして、実際に月で見つけた人類が思わず「笑顔」になるようなメッセージを中心にGOI内で選出後、アニメ「機動戦士ガンダムUC(ユニコーン)」に登場する石碑「宇宙世紀憲章」を本プロジェクト用にアレンジした特殊合金プレート「GOI 宇宙世紀憲章プレート」（制作協力：GOI採択パートナー 国立大学法人 東北大学）に刻み、最後はGOI採択パートナーの株式会社ispace（以下ispace）が2024年※に打ち上げを予定しているHAKUTO-Rミッション2の月着陸船にプレートを載せ、実際に月まで運ぶプロジェクトです。

※ 2023年11月時点の想定

【キャンペーン内容】

名称：「GOI 宇宙世紀憲章キャンペーン～未来に向けて月へメッセージをおくろう～」

応募方法：下記応募フォームより、ご参加ください。

<https://www.bandainamco.co.jp/guda/goi/news/campaign01.html>

応募期間：11月18日(土)23:59まで

メッセージ文字数：50文字以内

ご応募いただいたメッセージの中からGOI内で選考し特殊合金プレート「GOI 宇宙世紀憲章プレート*1」に刻み、ispaceの月着陸船が月まで運びます。また、抽選で20名様に同じデザインのプレートをプレゼント*2します。なお、メッセージの一部については、本プロジェクト用にアレンジしたプレートや、SNSなどに掲載する予定です。詳細についてはガンダムオープンイノベーションの公式Xや公式サイトのニュースをご覧ください。

*1 特殊合金プレートを軽量化する技術はGOI採択パートナーである東北大学金属材料研究所に提供いただいています。
*2 プレゼント品の仕様は変更する場合がございますので予めご了承ください。



GOI 宇宙世紀憲章
プレートイメージ画像

各種プロジェクトの進行状況につきましては、ガンダムオープンイノベーションのサイト・SNSにて随時公開します。

●ガンダムオープンイノベーションHP

<https://www.bandainamco.co.jp/guda/goi/>

●ガンダムオープンイノベーションX(旧Twitter)

<https://twitter.com/GOIstaff>

●ガンダムオープンイノベーションFacebook

<https://www.facebook.com/p/Gundam-Open-Innovation-100070700325757/>

■ GOI 宇宙世紀憲章の詳細

- サイズ・重量 14cm、17g

- 素材 アルミ添加型ハイマンガンスチール

- 特徴

放射線が降りそそぐ月の劣悪な環境下でさえ、長期間劣化しない事を目標に開発

- 制作について

GOI採択パートナーでもある国立大学法人東北大学 金属材料研究所笠田研究室の協力により、現在研究開発を進める極限環境用合金を元に、宇宙への運搬及び月面環境でも数十年・100年と維持できる素材を想定し制作しています。

■ ispace 民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」のミッション2とは

「HAKUTO-R」は、ispaceが行う民間月面探査プログラムです。2024年※の打ち上げが予定されている民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」のミッション2の目的は、ミッション1で得た成果を踏まえた、月着陸船（ランダー）の設計及び技術と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの更なる検証及び強化です。ミッション2では、ispaceが中長期的に目指すシスルナ（cislunar: 地球と月の間）経済圏の構築を推進する上で重要施策となる、資源探査の初期的な取り組みを自社開発のマイクロローバーを中心に実施いたします。

※ 2023年11月時点の想定



ガンダムオープンイノベーションでは、これからも採択パートナーと共に、来るべき"現実の宇宙世紀"に向けて次なる未来社会を創造してまいります。

* 画像をご掲載いただく場合は、必ず権利表記の記載をお願いします。

権利表記：©創通・サンライズ

* プレスリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なく内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

【問い合わせ先】

ガンダムオープンイノベーション事務局：goip-info@bandainamco-mirai.com

ご参考資料

■ GUNDAM UNIVERSAL CENTURY DEVELOPMENT ACTION（略称：GUDA）」とは

今後加速するであろう人類の宇宙への進出において、宇宙における様々な問題を描いたガンダムのメッセージ（人口問題・地球環境問題）は、これからの人類にとってきっと価値あるもの。

リアルな宇宙世紀の幕開けに向けて、フィクションのガンダム世界の宇宙世紀を教訓として、より良い世界を目指してバンダイナムコグループがガンダムを旗印に、ファン・外部パートナーとも手を組み、未来の子供たちのために、様々なアクションを行っていきます。

<https://www.bandainamco.co.jp/guda/>

■ ガンダムオープンイノベーションとは

ガンダムオープンイノベーションとは、この現実世界において「宇宙世紀」を新たに捉えなおし、ガンダムの世界同様に現実世界が抱えている「社会課題」に対して、「ガンダム」と「未来技術」を掛け合わせることで未来の夢と希望を現実化するプログラムです。

ガンダムの持つ壮大な世界観には、まだ実現できていない新しい技術や可能性が詰まっています。

私たちはその可能性を現実のものとしワクワクする未来に向かって発展していくためにたくさんの人々の創造力と知恵と情熱を結集していきたいと考えています。



GUNDAM
OPEN
INNOVATION

■ 宇宙世紀憲章とは

「機動戦士ガンダムUC」作中に登場する『ラプラスの箱』と呼ばれる石碑に記された条文。宇宙世紀の始まりと共に発行され、『未来』と題されたチャプターには、ニュータイプ（物語に登場する架空の概念）について言及する40年以上前に、人類が未来の人類に託した希望の約束ともいべきものが記されていた。

■ 株式会社ispace (<https://ispace-inc.com/>)について

「Expand our planet. Expand our future. ～人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ～」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの3拠点で活動し、現在250名以上のスタッフが在籍。2010年に設立し、Google Lunar XPRIZEレースの最終選考に残った5チームのうちの1チームである「HAKUTO」を運営していました。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行っています。SpaceXのFalcon 9を使用し、2022年12月11日にミッション1のランダーの打ち上げを完了。2024年^{*}にミッション2の打ち上げを行う予定です。ミッション1の目的は、ランダーの設計及び技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証及び強化であり、ミッション1マイルストーンの10段階の内Success8まで成功を収めることができ、Success9中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することが出来ました。ミッション1で得られたデータやノウハウは、後続するミッション2へフィードバックされます。更にミッション3では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によってNASAが行う「アルテミス計画」にも貢献する計画です。

■ HAKUTO-R (<https://ispace-inc.com/jpn/m1>)について

HAKUTO-Rは、ispaceが行う民間月面探査プログラムです。独自のランダー（月着陸船）とローバー（月面探査車）を開発して、月面着陸と月面探査の2回のミッションを行います。SpaceXのFalcon 9を使用し、2022年にミッション1（月面着陸ミッション）のランダーの打ち上げを完了し、2024年^{*}ミッション2（月面探査ミッション）の打ち上げを行う予定です。

※2023年11月時点の想定